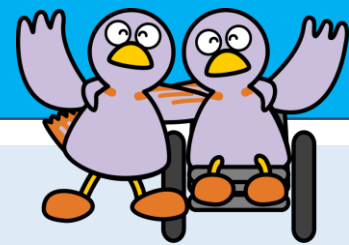


『彩の国いろどりライブラリー』について 《案》



埼玉県マスコット「コバトン」

■目的・経緯

第6期埼玉県障害者支援計画（計画期間：R3～5年度）「障害者施策推進協議会からの提言（抜粋）」

- ・学校教育で取り組まれている福祉教育は、子どもたちの障害に対する理解を進め、共生社会を実現することに向けた貴重な機会となっている。
- ・障害体験型の福祉教育だけではなく、障害当事者の方を講師とし、障害のある人もない人も同じ地域で暮らしているということに対して共感することができる内容についても積極的に導入すべき。



【県障害者福祉課】

県民の障害理解を進め、障害者差別の解消と合理的配慮の提供について普及啓発を進める上で、**障害当事者の方を講師とする福祉教育及び社会教育の推進と、障害当事者講師等の情報を広く県内に提供する仕組みづくりに取り組む。**

■企画の内容

- 講師リストを作成し、学校、地域、事業者などがいつでも講師情報にアクセスすることができる「ライブラリー」の仕組み
- 県内の一定地域で取り組まれている障害当事者による福祉教育の活動内容や障害者理解に関する情報などの紹介

県障害者福祉推進課ホームページに掲載

県民の方に障害当事者講師による福祉教育の取組を広く知っていただくとともに、講師人材にアクセスできる機会を作る。

■令和5年度の目標

県内で障害当事者講師による福祉教育を実践している団体等との連携協力により効果的に進めていくことを運用当初の目標とする。

- 県・市町村社協様、あったかウェルねっと様、DET埼玉様など、関係機関・団体との関係づくり
- 「彩の国いろどりライブラリー」ホームページの内容検討・開設
- 実証実験（デモンストレーション）の開催

福祉教育における彩の国いとりライブラリーの展開イメージ 《検討案》

